

総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」  
文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」  
**合同委員会兼成果報告会**

# 大阪府大阪市の成果報告

平成31年 3月 1日（金）  
大阪市教育委員会事務局

The School Knowledge Innovated By Prime ICT



# 1. 実証事業の目的

## 有益なデータ (エビデンス) の見える化を実現

学校に新しい価値を提供し、教員や管理職の利便性を高めることで効果普及を図る。ダッシュボードでは、児童生徒、先生、管理職、教育委員会のそれぞれにとって有益なデータ (エビデンス) の見える化

### ■ 本実証事業で取り組む内容

事業計画策定にあたり、学校へ合計**47**回の「データ活用に対する期待や要望」のヒアリングを行い、**111**個のヒアリング項目を整理し、本実証以下の3テーマを設定した。

テーマ	詳細
I. 学力・体力の向上	学習サイクルの定量評価やその結果に基づく教員の行動変革を通じて学力向上を実現する
II. 安全・安心な学校	授業満足度や日々の充実度と校務系データを組み合わせ、教員の即時対応力の向上および個別指導の強化を実現する
III. 学校経営を支援する教育施策の企画立案	校務系、学習系、行政系データを合わせ、学校の現況や所属教職員の把握など管理職の学校経営深化を実現する

### ■ 学校に提供する新しい価値

校務系システム  
さらなる活用



学習系システム新規導入

小学校：やるKey/心の天気  
中学校：リアテンドント/心の天気



ダッシュボード  
校務・学習・(行政)  
データ組み合わせ

EDUCOM マネージャー



### ■ ダッシュボードの最終イメージ

12個の  
ニーズ



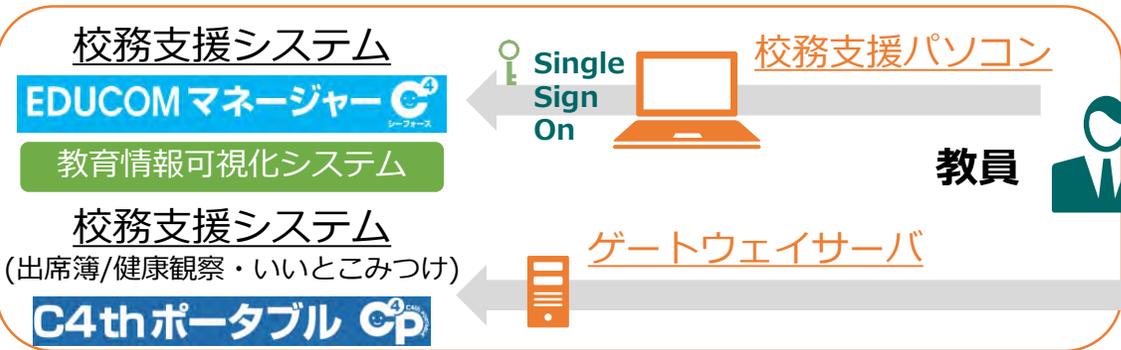
8つの  
データ



## 2. データ活用の前提となるICT環境

### ICT機器の特性 に合わせた活用

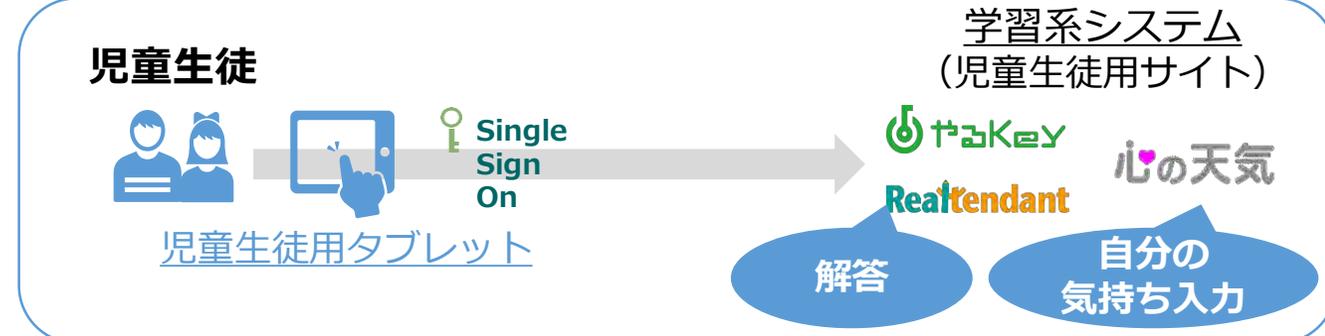
教員は複数のICT機器を駆使し、各場所で校務系/学習系システムを活用。  
また、限られたICT機器を工夫し、児童生徒が授業で学習系システムを活用。



1台/教員の校務支援パソコンで、校務支援・教育情報可視化システムを活用



場所を選ばないシステム利用  
教員が校務系・学習系に縛られず、  
安心・安全にシステム活用  
できる環境はさらなる効果を生む！



現状のタブレット台数  
小学3～6年対象：40台/学年  
中学1～3年対象：40～80台/学年

今後 (Future)  
タブレット1人1台  
はさらなる活用と  
効果を生む！

# 3. 利用する校務系システムと学習系システム

## データ連携で つながる各システム

教員は校務系システムおよび各学習系システムの教員サイトを活用し、データを蓄積。  
 児童生徒は各学習系システムの児童生徒サイトを活用し、データを蓄積。

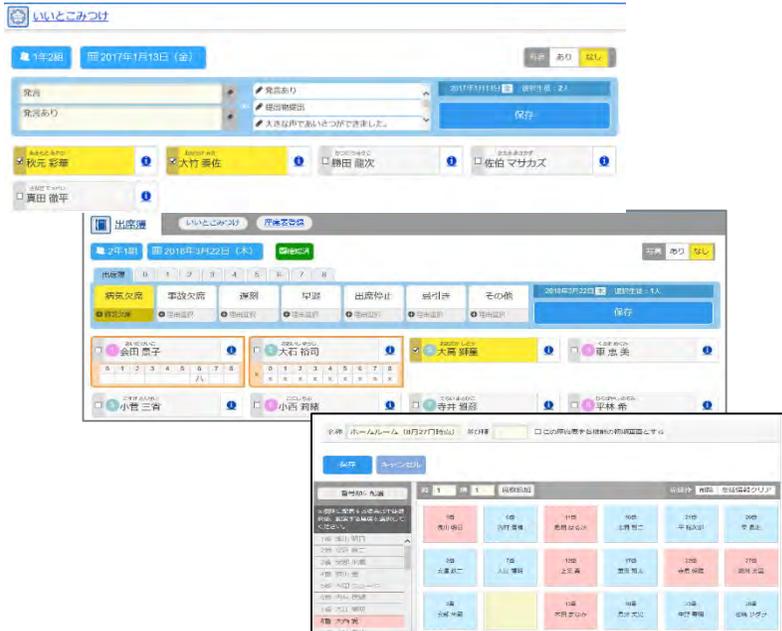
### 校務系システム

EDUCOM

統合型校務支援システム

EDUCOM マネージャー C4th ポータブル

出席簿/健康観察、いいとこみつけ  
 (日常所見)機能をタブレットから入力。  
入力データ蓄積を後押し。



### 学習系システム

TOPPAN

デジタルドリルシステム



小学校算数で活用。  
児童は仕上げドリルを解き、  
苦手を克服、深い定着へ。  
教員はヒートマップで学級  
の習熟度を即座に把握。

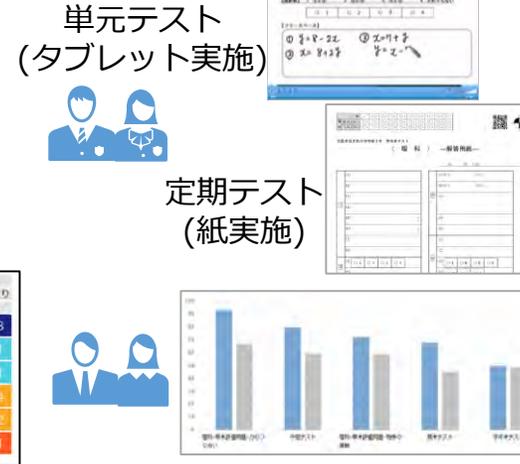


DNP

デジタルテストシステム



中学校理科・数学で活用。  
生徒は単元/定期テストを  
タブレットや紙で解答。  
教員は経年で個々の学力を  
見取り、指導・声かけに活用。



EDUCOM

心の天気システム



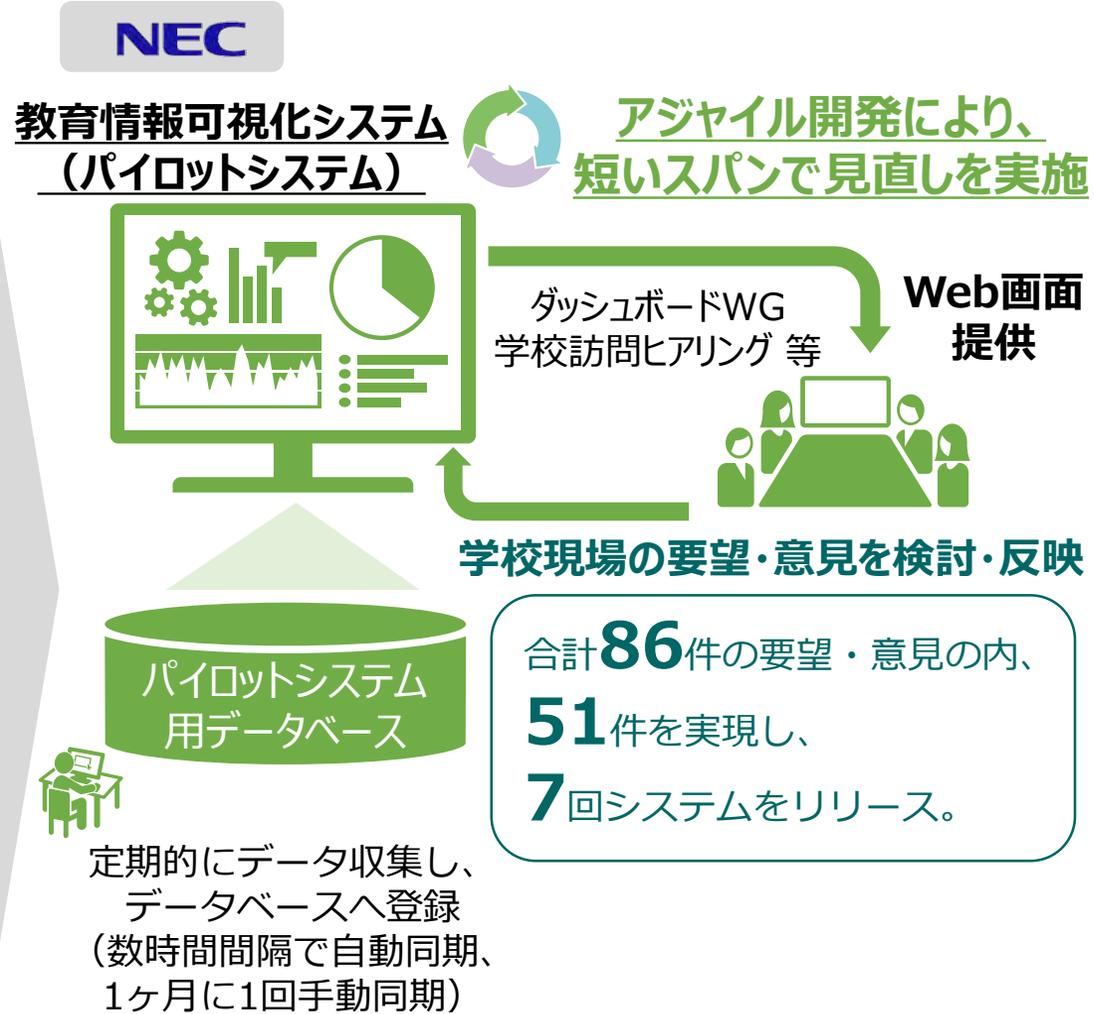
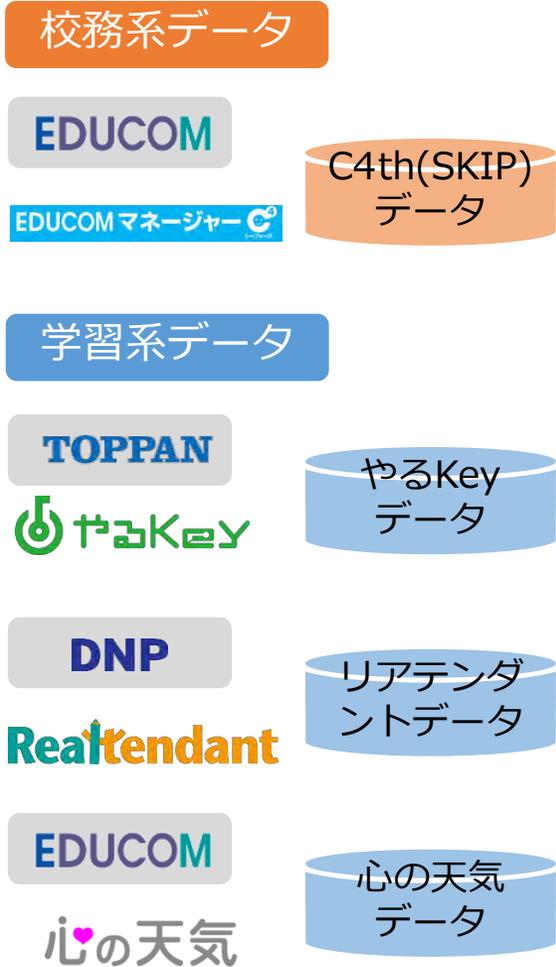
小中学校で活用。  
児童生徒の日々の心の状態  
を選択しタブレットで入力。  
教員は気持ちの変容から  
児童生徒への声かけで活用。



# 4. 教育データ可視化システム概要

## 現場の声を聞き、 迅速な改善

学校現場の意見や要望を迅速に反映、効果を確認可能なパイロットシステムを実現。  
短いスパンで見直ししながら、市全体で認識整合し、円滑に実証を推進。



- 児童生徒ボード
- 児童生徒一覧
- 学級ボード
- 懇談向け資料



# 4. 教育データ可視化システム概要 - 児童生徒ボード -

## 『児童生徒ボード』 では個に応じた指導、 学校全体での情報共有

児童生徒に関わる校務および学習系情報を集約・可視化し、個に応じた指導、学校全体での情報共有による組織的な支援へ活用。

児童生徒ボード

5年A組 15番 滝川 太郎15

前の児童生徒 次の児童生徒 学級ボードへ 児童生徒一覧へ

生活のようす

共有TOPIC

いいとこみつけなど (2件/年度)

学習のようす

共有TOPIC

いいとこみつけなど (2件/年度)

出欠/健康観察/心の天気

学習データ

基本情報

成績(教科)

凡例  
赤字(太字) : 校務系データ  
青字(下線) : 学習系データ

児童生徒ボード

5年A組 15番 滝川 太郎15

前の児童生徒 次の児童生徒 学級ボードへ 児童生徒一覧へ

生活のようす

共有TOPIC

いいとこみつけなど (2件/年度)

学習のようす

共有TOPIC

いいとこみつけなど (2件/年度)

出欠/健康観察/心の天気

学習データ

基本情報

成績(教科)

共有配慮事項・家庭のようす

児童生徒基本情報(アレレギー)

日常所見・教務必携・共有配慮事項(生活のようす)

日常所見・教務必携・共有配慮事項(学習のようす)

出欠情報 健康観察情報 心の天気

学習履歴結果

成績処理の入カデータ

保健室利用情報

# 4. 教育データ可視化システム概要 - 児童生徒一覧 -

## ソート機能で各データ項目のしきい値を模索

児童生徒ボードへの動線で利用していた児童生徒一覧のデータ項目をソート可能とし、さらに教員にアラートを出すための各データ項目のしきい値を模索。

児童生徒一覧

滝川小学校

5年A組

学級ボード

[【5年A組】やるKeyしあげ結果グラフ](#)

※項目名「番号」「欠席」「遅刻」「早退」「いいとこ(生活)」「いいとこ(学習)」「アレルギー」をクリックすると並び順を変更することができます。  
※「欠席」「遅刻」「早退」「いいとこ(生活)」「いいとこ(学習)」は本日を含む直近15日間の合計値を表示しています。

表示	クラス	番号	名前	懇談向け資料	児童生徒ボード	欠席	遅刻	早退	いいとこ(生活)	いいとこ(学習)	アレルギー
<input type="checkbox"/>	5年A組	1	滝川 一郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	2	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	2	滝川 二郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	イカ
<input type="checkbox"/>	5年A組	3	滝川 三郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	エビ
<input type="checkbox"/>	5年A組	4	滝川 四郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	5	滝川 五郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	乳製品
<input type="checkbox"/>	5年A組	6	滝川 六郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	7	滝川 七郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	8	滝川 八郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	9	滝川 九郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	10	滝川 十郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	鶏卵

児童生徒一覧

滝川小学校

5年A組

学級ボード

<PDF提供リンク>

やるKey単元  
仕上げ問題結果

※項目名「番号」「欠席」「遅刻」「早退」「いいとこ(生活)」「いいとこ(学習)」「アレルギー」をクリックすると並び順を変更することができます。  
※「欠席」「遅刻」「早退」「いいとこ(生活)」「いいとこ(学習)」は本日を含む直近15日間の合計値を表示しています。

表示	クラス	番号	名前	懇談向け資料	児童生徒ボード	欠席	遅刻	早退	いいとこ(生活)	いいとこ(学習)	アレルギー
<input type="checkbox"/>	5年A組	1	滝川 一郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	2	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	2	滝川 二郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	イカ
<input type="checkbox"/>	5年A組	3	滝川 三郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	エビ
<input type="checkbox"/>	5年A組	4	滝川 四郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	5	滝川 五郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	乳製品
<input type="checkbox"/>	5年A組	6	滝川 六郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	7	滝川 七郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	8	滝川 八郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	9	滝川 九郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	5年A組	10	滝川 十郎	算数	児童生徒ボード	0	0	0	0	0	鶏卵

<学級一覧表示>

出欠情報

健康観察情報

児童生徒基本情報

<学級一覧表示>

いいとこみつけ (日常所見・教務必携・共有配慮事項)の入力数を生活と学習別に表示

児童生徒基本情報(アレルギー)

凡例

赤字(太字) : 校務系データ

青字(下線) : 学習系データ

# 4. 教育データ可視化システム概要 - 学級ボード (タイムライン・クラスのように) -

『学級ボード』では  
問題やつまずきへの  
早期発見等

『タイムライン・クラスのように』、『生活のようす』、『学習のようす』の  
3画面で学級サマリやアラート情報を表示。児童生徒ボードへの動線の役割を担い、  
問題やつまずきへの早期発見、管理職からの指導・助言や支援に活用。

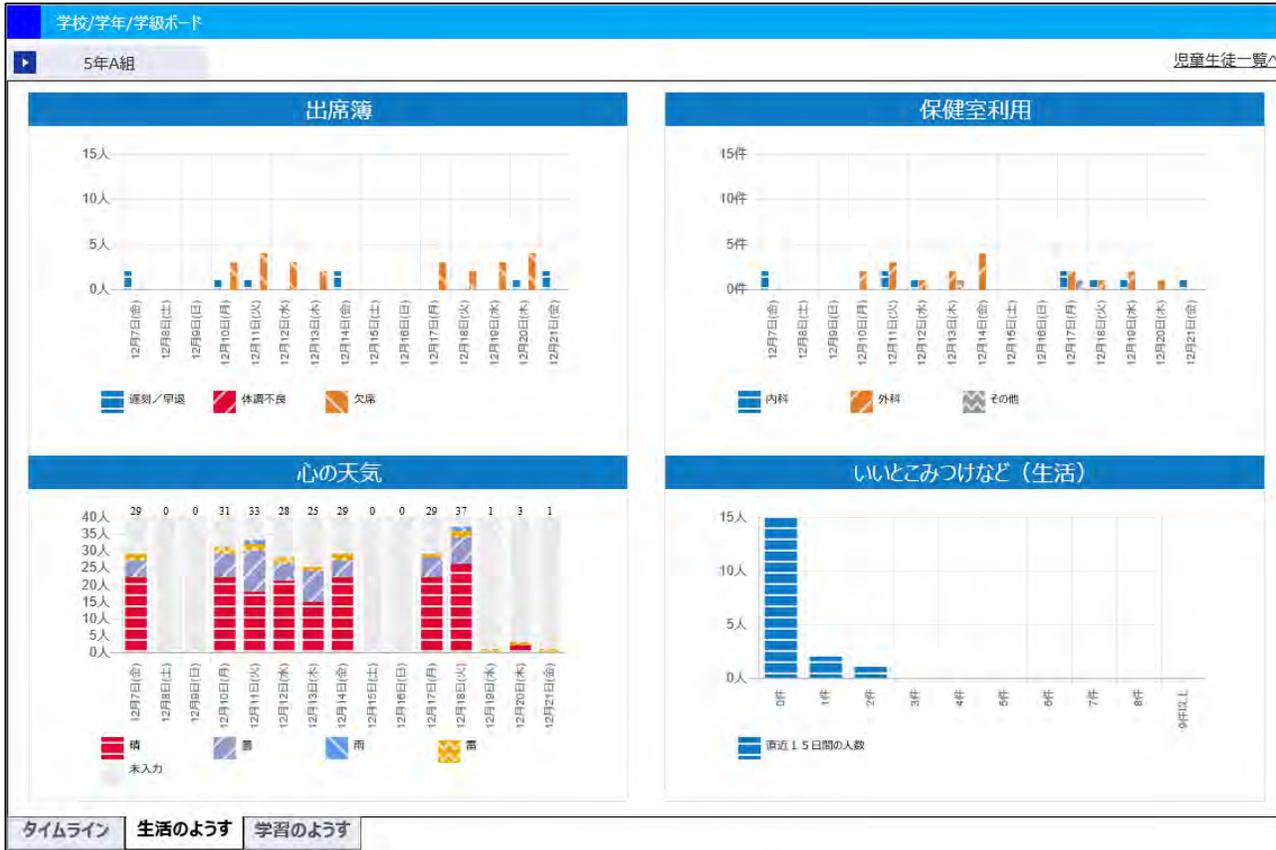
タイムライン・クラスのように画面

凡例  
赤字(太字) : 校務系データ  
青字(下線) : 学習系データ

# 4. 教育データ可視化システム概要 - 学級ボード（生活のようす） -

『学級ボード』では  
問題やつまずきへの  
早期発見等

『タイムライン・クラスのようす』、『生活のようす』、『学習のようす』の3画面で学級サマリやアラート情報を表示。児童生徒ボードへの動線の役割を担い、問題やつまずきへの早期発見、管理職からの指導・助言や支援に活用。



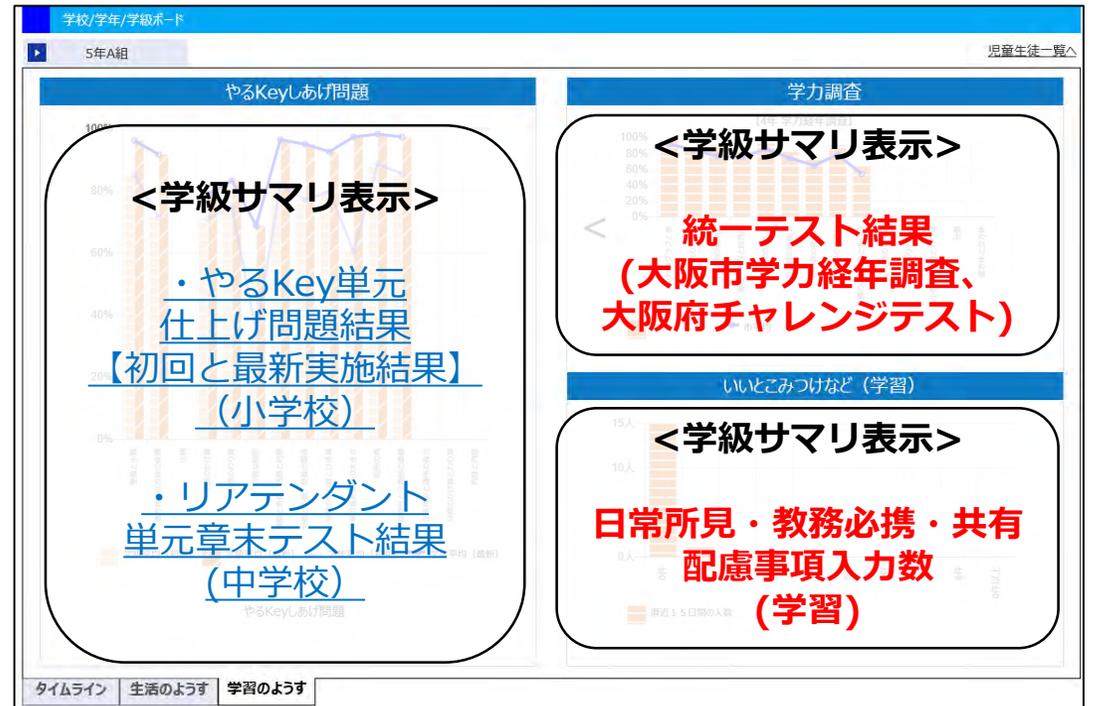
生活のようす画面

凡例  
赤字(太字) : 校務系データ  
青字(下線) : 学習系データ

# 4. 教育データ可視化システム概要 - 学級ボード（学習のようす） -

『学級ボード』では  
問題やつまずきへの  
早期発見等

『タイムライン・クラスのようす』、『生活のようす』、『**学習のようす**』の3画面で学級サマリやアラート情報を表示。児童生徒ボードへの動線の役割を担い、問題やつまずきへの早期発見、管理職からの指導・助言や支援に活用。



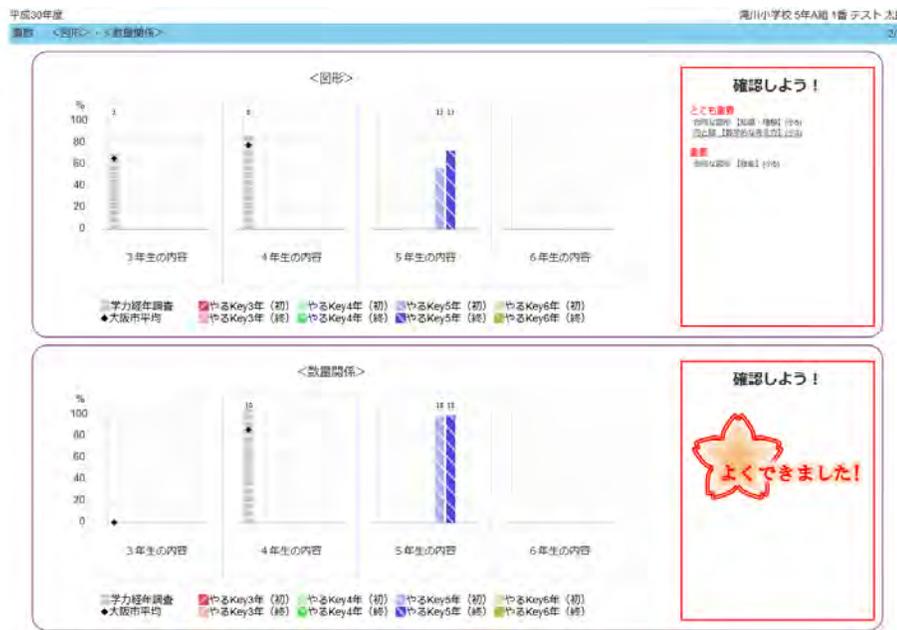
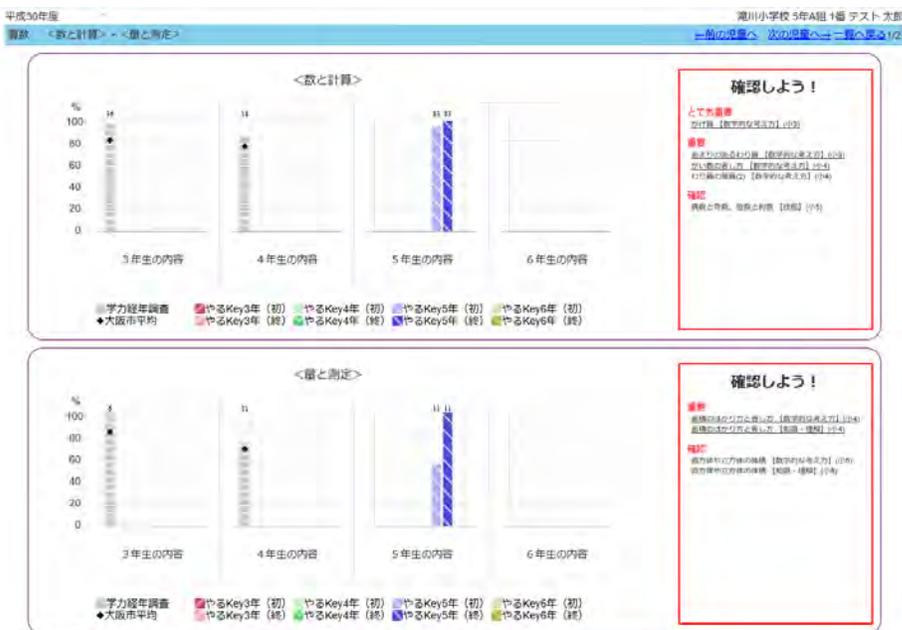
学習のようす画面

凡例  
赤字(太字)：校務系データ  
青字(下線)：学習系データ

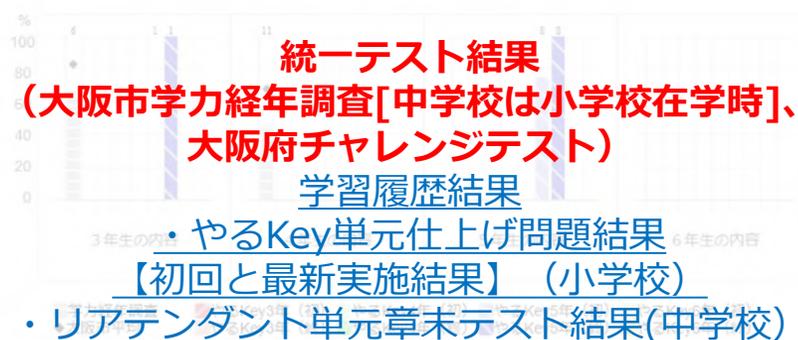
# 4. 教育データ可視化システム概要 - 懇談向け資料 -

『懇談向け資料』では  
保護者向け説明、児童  
生徒の振り返りで活用

正答率から弱みを提示し、重点的に学習すべきことを明確化。  
長期休業前の個人懇談会などで児童生徒自身の振り返りや  
保護者向け説明資料として活用。



## <教科の領域別に正答率ごとに表示>



凡例  
赤字(太字) : 校務系データ  
青字(下線) : 学習系データ

確認しよう!  
<問題正答率に基づいて、重点的に学習すべき単元x観点を表示>

# 5. 教育データ可視化システム実践事例とデータ活用の効果 - 滝川小学校 -

いいとこみつけの活用を軸に、児童に関わる情報を電子化し、  
学校全体での情報共有による組織的な支援を実践。

いいとこみつけ（日常所見登録機能）  
に属性を付与し、表示を使い分け

共有TOPIC

生活の様子

学習の様子

日々の心の天気表示

共有配慮事項

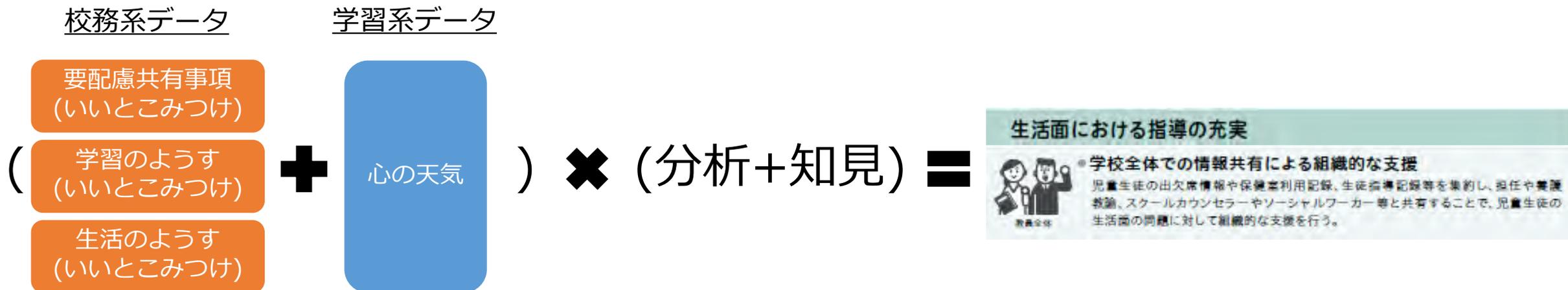
アレルギー表示  
(栄養教諭と連携)

保健室利用表示  
(養護教諭と連携)



滝川小学校は、いいとこみつけを全ての教職員で書き込み可能とし、心の天気も全学年で入力可能としている。その結果、**児童生徒ボードや学級ボードにより、学年・学級の枠を超えた教職員間での情報共有**に幅広く活用できており、児童を見つめ直すきっかけとなっている。

## 学級ボード・児童生徒ボード 実践事例



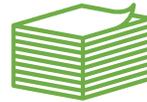
### エピソード

特別支援教育研修会の限られた時間を効率よく実施できた。  
事前にいいとこみつけを活用し、重要な事項(児童の様子、家庭の様子、かかりつけの医者のアドバイスなど)を入力しておくことで、他の教職員が事前または研修会の際に閲覧できた。  
こちらにより、以前であれば、紙ベースで印刷し、終わったら回収していた手間がなくなった。  
また、心の天気データも合わせて確認することで、当該児童を他の観点から見ることができた。  
電子化しておくことで、引継ぎ資料としても活用できる。

# 5. 教育データ可視化システム実践事例とデータ活用の効果 - 天王寺小学校 -

やるKeyの学習履歴フル活用を中心に、  
つまづきの早期発見と個に応じた指導を実践。  
保護者への具体的な説明、児童への振り返りにもデータを活用。

ヒートマップ習熟度把握



大阪市学力経年調査



やるKey

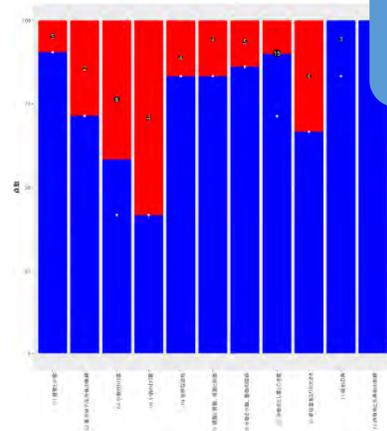
やるKeyグラフ

やるKeyヒートマップ

やるKey  
活用による  
個別指導

やるKeyグラフ

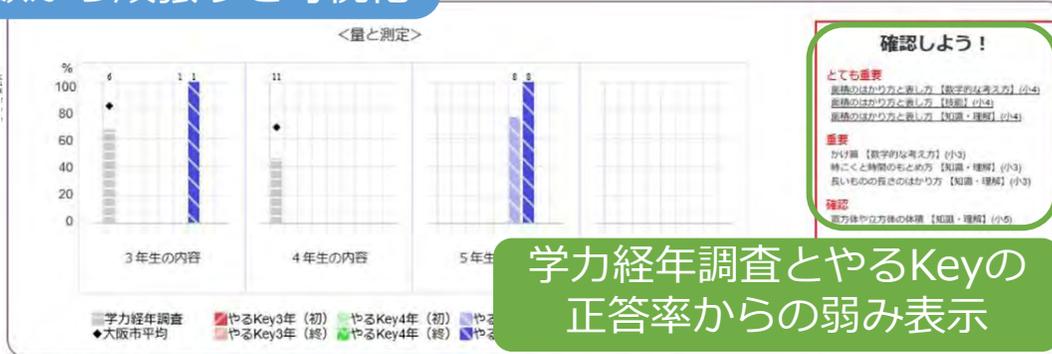
初回(青)と最新(赤)結果、  
実施回数から頑張り度を可視化



懇談会資料



正答率の低い  
問題を再度出題

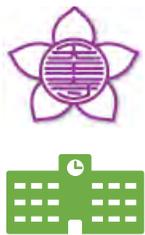


学力経年調査とやるKeyの  
正答率からの弱み表示



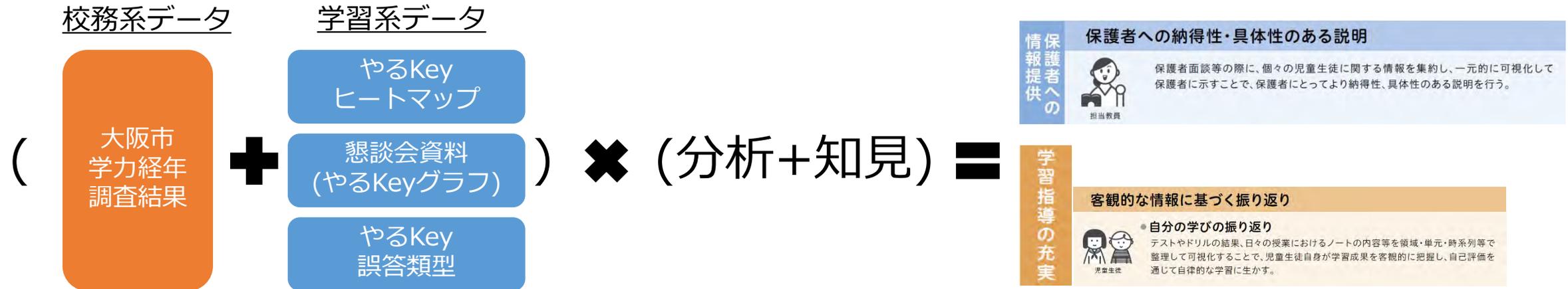
つまづきの早期発見、  
児童の振り返り

個人懇談会で保護者  
へ配布し、説明



天王寺小学校は、やるKeyの学習履歴をフル活用し、**学力向上に向けた取り組み**を実施。  
学力経年調査と掛け合わせた「**懇談会資料**」、初回結果と最新結果を表した「やるKeyグラフ」、  
銅トロフィー獲得を目標とし、進捗が把握可能な「やるKeyヒートマップ」等のデータを活用。  
児童のつまづきの早期発見や個別指導へ活かすとともに、保護者への説明に利用している。

## 児童生徒ボード・懇談会資料 実践事例



### エピソード

大阪市学力経年調査とやるKeyの単元しあげ問題の正答率をもとに表示される懇談向け資料を保護者に配布とした。

データの蓄積が少ない段階で、「確認しよう！」の弱みが表示されてしまっており、苦手と判断するには時期尚早であった。

一方で、やるKeyグラフやヒートマップ、誤答累計を合わせて、正答率から苦手とする部分の問題を児童へ出題し、児童自身が学びを振り返り、苦手克服を指導した。

日頃スポットライトがあたっていない児童に目がいく機会も生まれてきている。

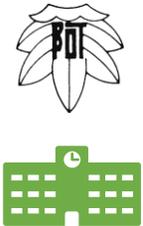
# 5. 教育データ可視化システム実践事例とデータ活用の効果 - 阿倍野小学校 -

校務情報に、やるKeyや心の天気情報をプラスし、担任以外の教員が校内の学習状況把握による適切な対応、実態を踏まえた教員への指導を実践。

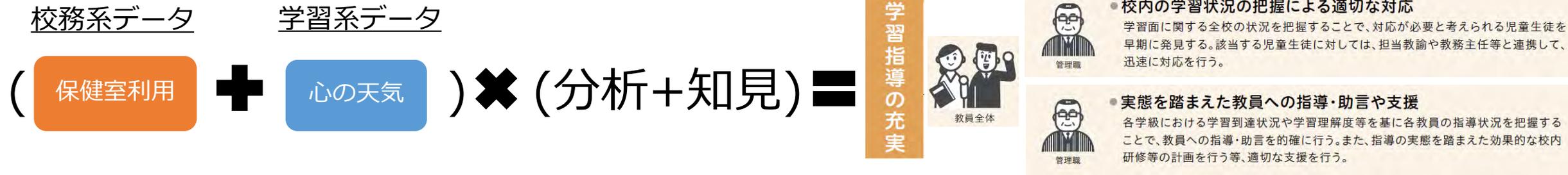
The screenshot shows a web interface for a school's data visualization system. It features a sidebar with navigation options like 'クラスの様子' (Class Status) and '基本情報' (Basic Information). The main content area is titled 'タイムライン' (Timeline) and displays a list of events for a specific date (December 20, 2018). The events include student names and their activities, such as '保健室利用' (Health Room Use) and '出席簿' (Attendance Book). A green callout box highlights the 'タイムラインアラート表示' (Timeline Alert Display) feature.



阿倍野小学校は、保健室利用や成績情報、出欠簿の校務情報を用いることで、担任以外の管理職や教務主任などの教員が校内の状況を把握し、さらにやるKeyや心の天気情報を追加することで、**児童への一歩踏み込んだ声かけや客観的なデータから実態を踏まえた教員への指導対応**ができています。実態把握にあたっては、**学級ボードのタイムラインで俯瞰し、児童生徒ボードによる深掘りを実践**。日常的に取得していた校務データが各ボードを通すことで可視化され、活用を広げている。将来的には、担任外のインプット情報を通知表への所見としても活用していきたい。



## 学級ボード 実践事例



### エピソード

心の天気が雨だった児童が、朝から体調が悪いことが分かり、養護教諭に連絡すると共に、一日の様子を特に注意してみることができた。また、保健室利用の記録で、『首が痛い』という症状が多かったので、児童へ声がけした。マット運動の後転をし始めた段階で、経験の浅い若手教員や児童に対して、十分な準備運動を実施などの指導が即時にできた。病気やケガに関わらず、保健室に良く行く児童の気持ちを聞くために、心の天気を見て声がけを徹底した。これらにより、校内の学習状況を把握し、適切な対応がとれるとともに、実態を踏まえた教員への指導・助言や支援につなげた。今後の展望として、校務の週案や時限情報と保健室利用時間、心の天気入力時間などを組み合わせることでさらなる分析が広がり、児童の苦手な教科などが見えてくる可能性が考えられるため、活用を検討としたい。

# 5. 教育データ可視化システム実践事例とデータ活用の効果 - 大和川中学校 -

定期/章末テストのリアテンドラント活用を通し、客観的な情報に基づく指導を実践。  
蓄積されたデータが地域関係機関への提示資料となり、  
学校組織として学校経営へ活かす。



定期  
テスト

章末  
テスト



成績情報



リアテンドラント客観データ



児童生徒ボード



客観的な情報に  
基づく指導



学校組織としての  
学校経営深化

学校の  
取り組み説明

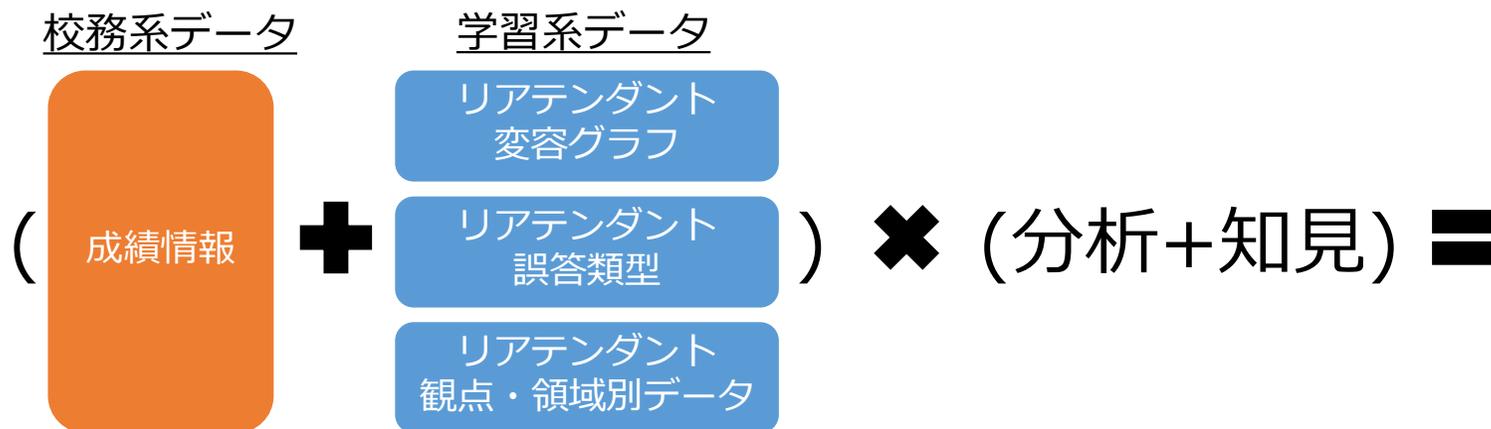


地域等

大和川中学校は、リアテンドラントの学習履歴と成績情報を共に確認できることで、生徒一人ひとりの得意・苦手を把握した指導が可能となった。また、児童生徒ボードで蓄積・可視化されたことにより、地域関係機関へ学校の取り組みを示すデータとなる。学校組織として学校経営深化を目指す。



## 児童生徒ボード・懇談会資料 実践事例



学習指導の充実

客観的な情報に基づく振り返り

多様な情報による適正な評価  
テストやドリルの結果、日々の学習におけるノートの内容等、個々の児童生徒の情報を集約することで、根拠の伴った適正な評価を迅速に行う。

客観的な指導状況に基づく授業改善

指導状況の客観的な把握による授業改善  
自らの指導内容と児童生徒の学習理解度等を関連付けて把握することで、授業のねらいと児童生徒の実態に合い難い点がないかどうか振り返る等、自身の指導の実態を客観的に把握することで、授業改善につなげる。

### エピソード

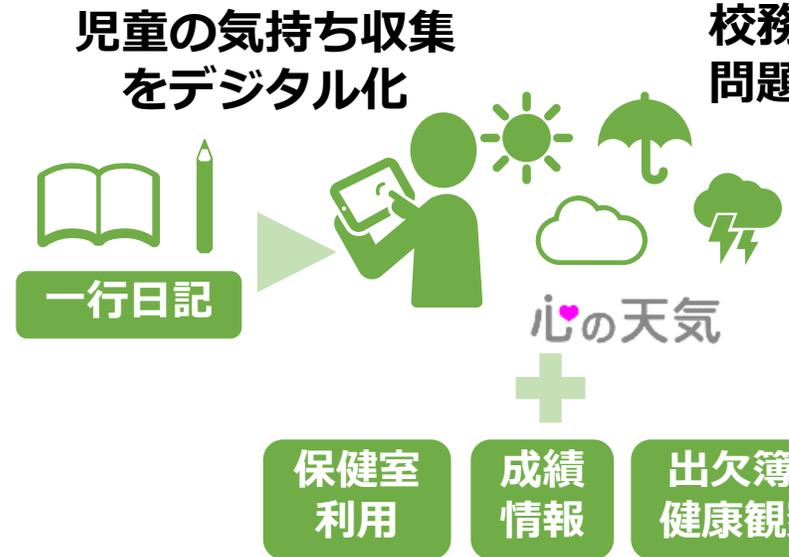
テスト返却時に、各問題の正答率を生徒達に教えることができるようになった。生徒が受験期になった時に自身で勉強ポイントを見極めてほしい。何かのデータを根拠に生徒自身が勉強をしてほしい。かつ、教員自身も生徒達の正誤表からどの問題ができていなかったのか確認し、次の授業は噛み砕いて説明するなど、指導へ活用としたい。また、これまで定期テストだけで生徒を評価していたが、他のテストの結果と比較して見ることで、成績のつけ方が変わってくる。データを閲覧することで、教員自身が生徒に感じている要素とギャップが生まれた時に気づきを得ることがある。

## 5. 教育データ可視化システム実践事例とデータ活用の効果 - 旭陽中学校 -

一行日記の習慣を心の天気でデジタル化。心の天気活用を軸とし、生活面での状況把握と個に応じた指導、問題の早期発見と適切な対応を実践。



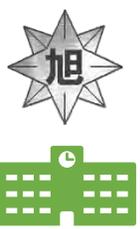
出欠簿/健康観察  
と心の天気



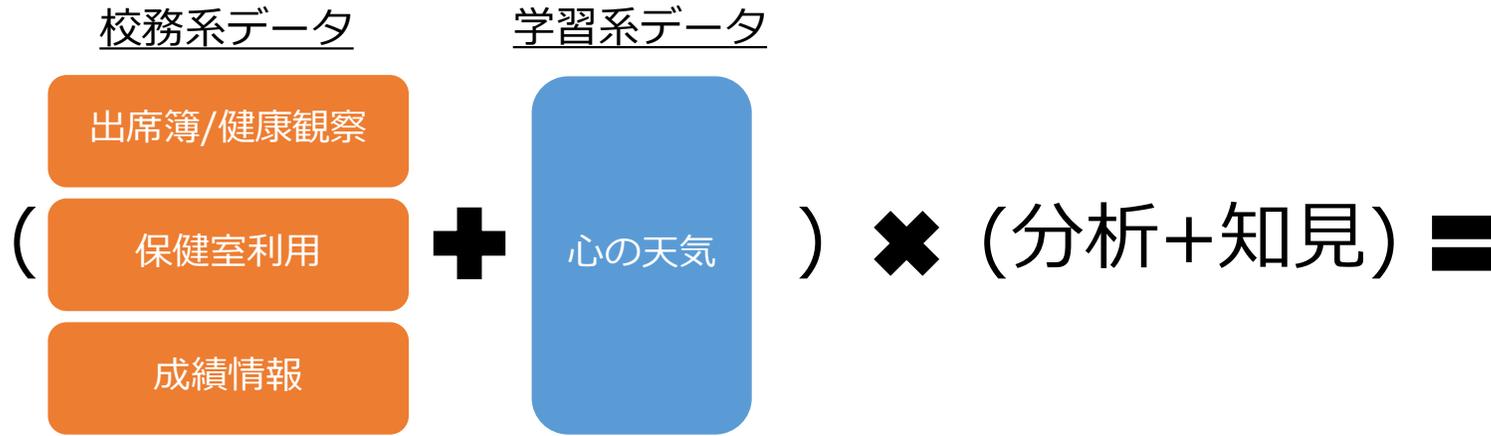
校務の情報とプラスし、個に応じた指導、問題早期発見・適切な対応を実施。

- 学習意欲の向上
- 特別支援担任と保護者連携
- トラブル未然防止
- 不登校生徒への声掛け

旭陽中学校は、以前から習慣づけていた一行日記を心の天気システム運用へ変更し、活用している。学級ボードや児童生徒ボード上で、心の天気の変化と校務データとの突き合わせにより、よりきめ細かい生徒の情報が把握できるようになり、生活指導を中心とした活用の幅を広げている。教職員が情報を共有することで担任だけが問題を抱えることなく、**教職員の組織的な支援も可能**である。また、管理職はデータの遷移を確認することで、**経験が浅い教員へ指導**しやすく、**生徒の変容から指導している教員の頑張りも見える**。データの活用により、学級の安定化に貢献できていると考えている。学習での活用だけでなく生活面の指導においても、一人1台のタブレット活用が有効である。



## 学級ボード・児童生徒ボード 実践事例



**生徒指導の充実**

**生活面における指導の充実**

- 
**生活面の状況把握と個に応じた指導**  
 児童生徒の出欠席情報や自己評価アンケート、保健室利用記録、生徒指導記録等を集約し、一元的に可視化することで、児童生徒の抱えている生活面の問題や不登校、いじめ等の可能性を早期に発見し、個々の児童生徒の状況に応じた適切な対応を行う。
- 
**生活面で抱える問題の早期発見と適切な対応**  
 生活面に関する全校の状況を把握することで、対応が必要と考えられる児童生徒を早期に発見する。該当する児童生徒に対しては、担当教諭や養護教諭等と連携して、迅速に対応を行う。

### エピソード

生活指導上で課題をもつ生徒に対して、朝の段階で心の天気が雷だったことを把握したことで教員が適切な声かけを行い、クールダウンを早期に図ることができた。また、特別支援の生徒では、心の天気で雷が続き、欠席も増えていたが、声かけによってトラブルが発生していることが分かり、保護者と連携して、登校を促すことができた。日々の心の天気と保健室利用や出欠などの校務情報を利用して、生徒の変化に早期段階で気が付き、適切なタイミングで声かけをするなど、きめ細かな対応ができた。その他、学級のテスト結果の得点率の違いから、指導に関する教員間の対話も生まれており、学習データのさらなる活用も検討できている。

## 6. 個人情報に関わる報告

### 今後の課題は ルールメイキング

パブリッククラウド活用にあたり、既存のガイドラインや事例だけでは、個人情報審議会において、多くの懸念を払拭できなかった。パブリッククラウド活用にあたるルールメイキングが必要。



**既存ガイドラインや事例では、  
懸念を払拭できない**



# 7. 教育データ可視化システムを実現するためのシステム構成

## 校務と学習データ API連携にあたる標準化実証を推進

パイロットシステムで進めてきた実証をベースに、スマートスクール・プラットフォームを構築。

TOPPAN

学習系クラウド



REST API連携

DNP

学習系クラウド



REST API連携

EDUCOM



連携方法検討※

学習系システム (オンプレミス)

NEC

中間サーバ (オンプレミス)



通信を仲介、  
トラストフレームワーク  
の仕組みを提供

REST API連携

校務系システム (オンプレミス)

EDUCOM マネージャー

## 教育情報可視化システム (新C4thダッシュボード)



校務系システムを拡張し、データベースを共有化したダッシュボードを提供 (データ連携後、学習系データも合わせて表示)

EDUCOM

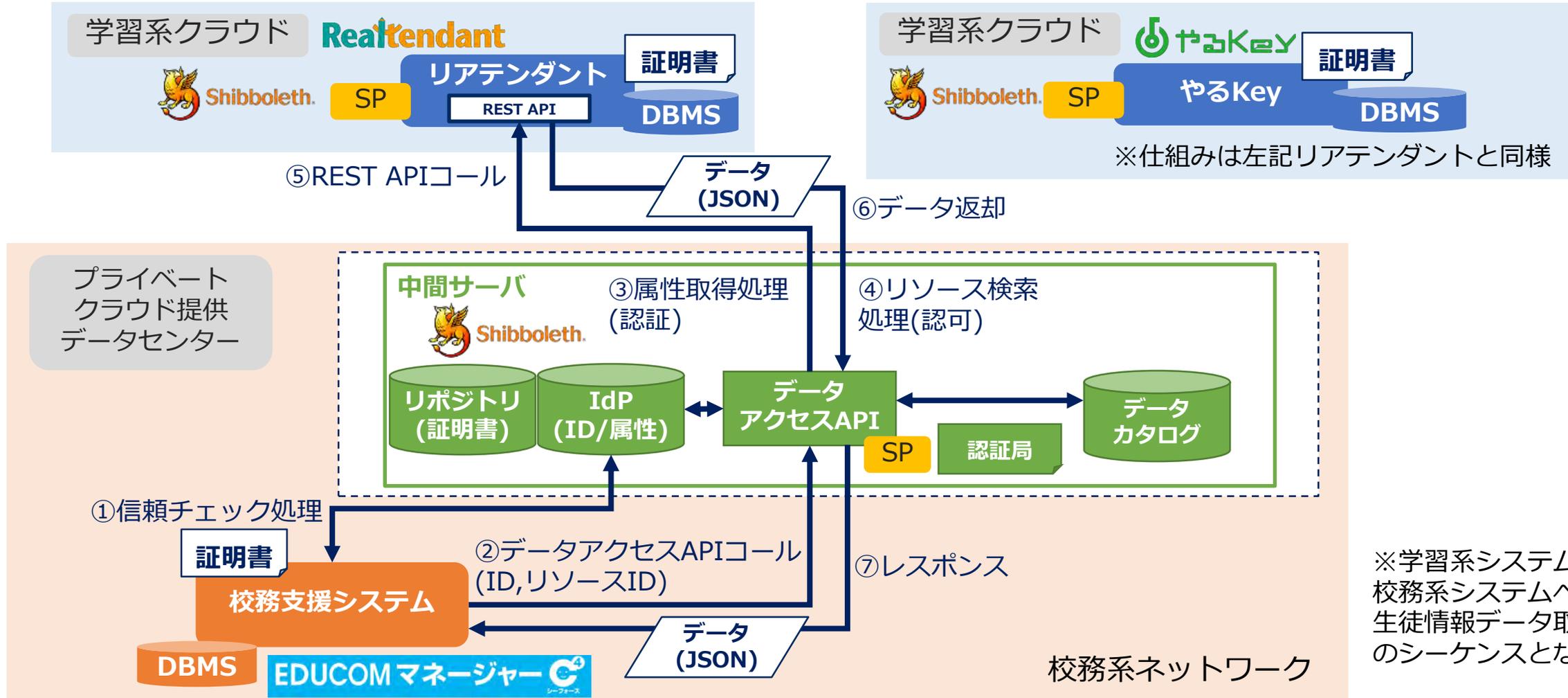
※校務系システムと同ベンダの提供パッケージとなるため、標準化対象外。

# 7. 教育データ可視化システムを実現するためのシステム構成

## データ連携における セキュリティ強化

REST APIによる校務系と学習系のデータ連携を実現。  
中間サーバでSAML認証による信頼性チェックを実装し、セキュリティを強化。

### ■校務系システムから学習系システムへの学習履歴データ取得



# 7. 教育データ可視化システムを実現するためのシステム構成

「パイロットシステム」と「新C4thダッシュボード」が教育データ可視化システムの両輪となり、実証を進めていきます。



文部科学省  
**教育情報可視化システム  
(パイロットシステム)**



教育の質の向上に資するか  
Try & Error実証モデル



**次世代学校  
支援モデル**



**スマートスクール・  
プラットフォーム**



総務省

**教育情報可視化システム  
(新C4thダッシュボード)**



学習系データ  
も表示予定

校務と学習データ連携  
にあたる標準化モデル

大阪市では、  
実証校・教育委員会・事業者が一体となって  
次世代の学級経営・学校運営支援のあり方を検討し、  
様々なダッシュボードを開発してきました。  
Try & Errorを継続的に繰り返し、  
実証で得た『経験値』を『教育の質の向上』へ  
還元できるように事業を進めていきます。